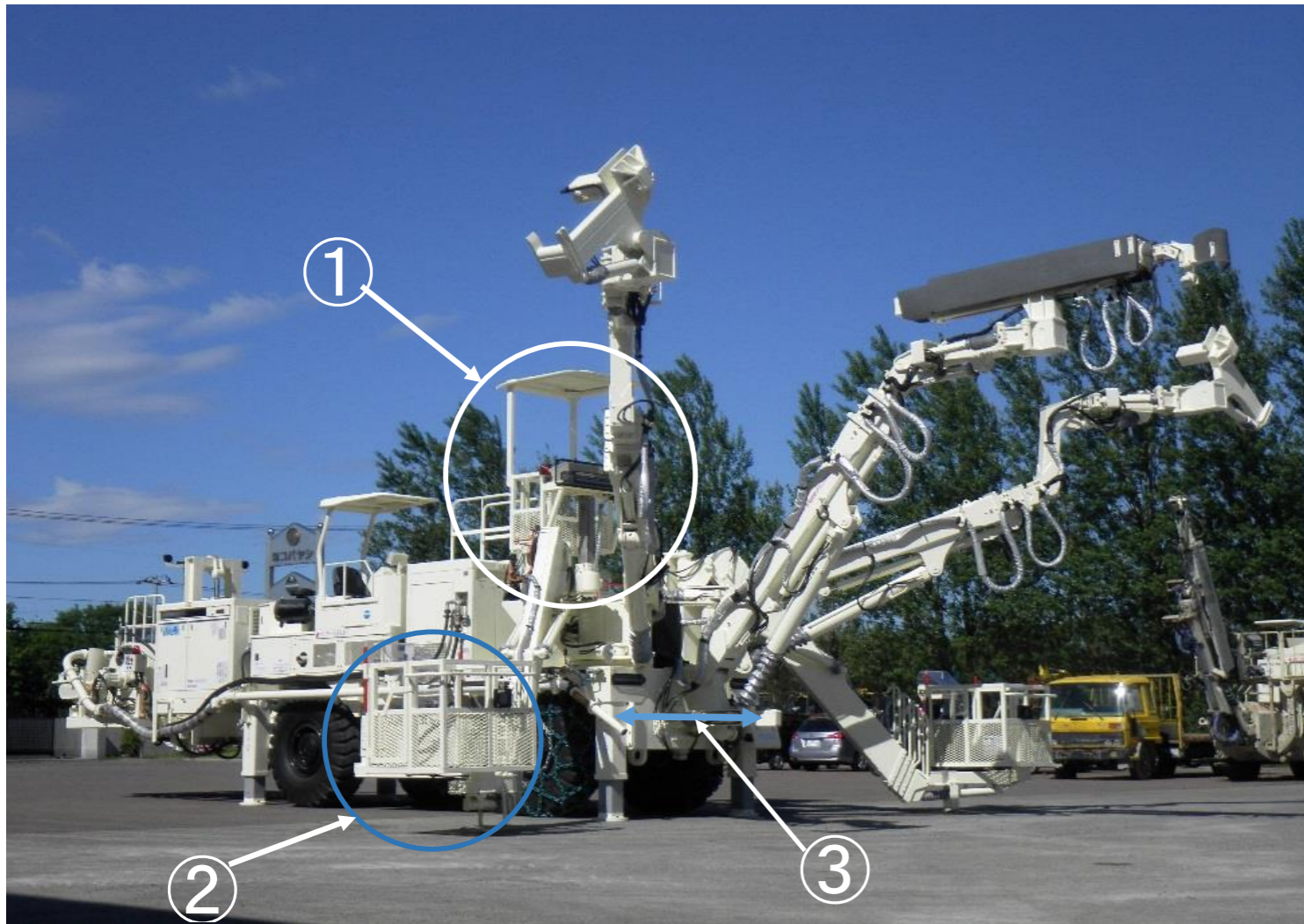


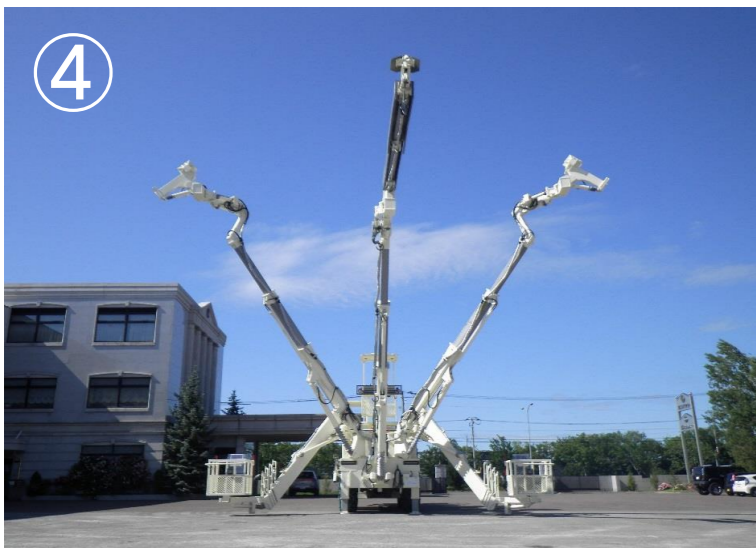
トンネルマン 隧道男 tunnel man

TKM2C2E1R-C

特定特殊自動車 排出ガス2011年規制適合車



- ① すべての作業機を見渡せる操作デッキ
- ② 最大積載荷重250kgまで、又切羽より離れた場所で乗り降り可能
- ③ 北海道新幹線断面に合わせて1から設計・製作している為、車幅が狭く各機械との離合が容易



- ④ 【吹付ロボットブーム】
 - 吹付ロボットブーム長 最伸時 7,765mm
 - 最大吹付高さ 9,185mm
 - 最大吹付幅 15,060mm
- 【バスケットブーム】
 - バスケットブーム長 最伸時 10,605mm
 - 最大積載荷重 250kg
 - 最大幅(ケージスイング無し) 22,800mm
- 【エレクターブーム】
 - エレクターブーム長 最伸時 8,385mm
 - 最大到達高さ 9,980mm
 - 最大保持荷重 1,000kg

【仕様】 機械改造等により予告なく変更することがあります

| NO | 項目 | 単位 | 仕様 |
|---------------|-------------------|---------------|--|
| 1 | 車両型式名称 | | TKM2C2E1R-C |
| 2 | 吹付性能 | 適用コンクリート 骨材寸法 | mm |
| | | スランブ | cm |
| | | 吹付能率 | m ³ /h |
| 3 | 走行性能 | 走行速度 | km/h |
| 4 | エンジン性能 | 登坂角度 | %(度) |
| | | 定格出力 | kW/min ⁻¹ |
| 5 | 所要電源 | 燃料タンク容量 | L |
| | | 総電力 | kW |
| 6 | 必要空気量 | コンクリートホッパ容量 | m ³ |
| | | トランス容量 | kVA |
| 7 | 電源ケーブル仕様(形式×搭載長さ) | - | 3PNCT150mm 2×3.14mm ² ×1-100m |
| 8 | 寸法 | 全長 | mm |
| | | 全幅 | mm |
| | | 全高 | mm |
| 9 | 運転整備重量 | kg | 39500 |
| 10 | エレクター | ブームリフト角 | 度 |
| | | ブームスイング角 | 度 |
| | | ブームエクステンション長 | mm |
| | | ブーム長(最伸時-最縮時) | mm |
| | | アームスイング角 | 度 |
| | | キャッチャー支保工把持部幅 | mm |
| | | キャッチャー回転角 | 度 |
| | | 最大到達高さ | mm |
| | | 最大幅 | mm |
| | | 最大保持荷重 | kg |
| | | 11 | バスケット |
| 12 | 吹付ロボット | ブームリフト角 | 度 |
| | | ブームスイング角 | 度 |
| | | ブームエクステンション長 | mm |
| | | ブーム長(最伸時-最縮時) | mm |
| | | ケージスイング角 | 度 |
| | | 最大床面到達高さ | mm |
| | | 最大幅 | mm |
| | | 最大制裁荷重 | kg |
| | | ブーム重量 | kg |
| | | ブームリフト角 | 度 |
| | | ブームスイング角 | 度 |
| ブームエクステンション長 | mm | | |
| ブーム長(最伸時-最縮時) | mm | | |
| アームエクステンション長 | mm | | |
| アームリフト角 | 度 | | |
| アームスイング角 | 度 | | |
| ノズルリフト角 | 度 | | |
| ノズル回転角 | 度 | | |
| 最大吹付高さ | mm | | |
| 最大吹付幅 | mm | | |

※1.支給される急結剤添加装置、エアードライヤなどにより変動します。

※2.バスケットスイングブラケット幅

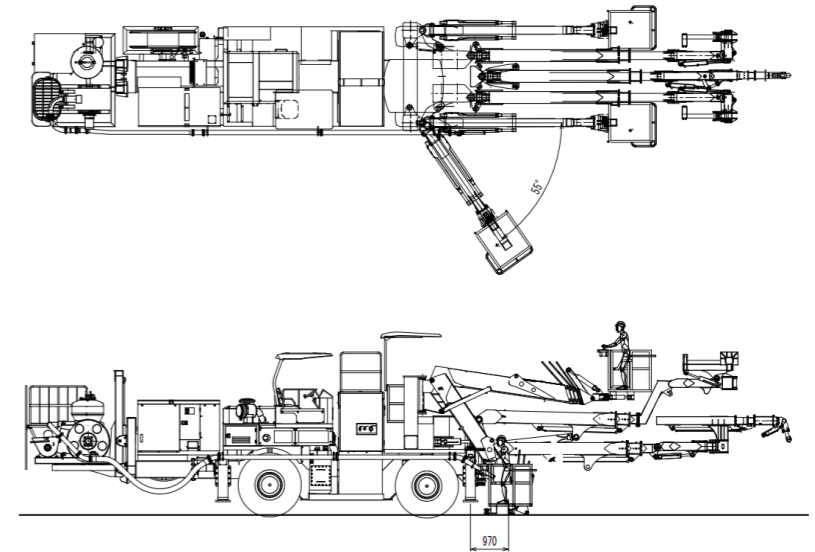
◎支保工運搬走行

支保工を運搬する際、機体幅内に作業機を収めて走行することが可能。
トンネル坑内での限られたスペースでの離合時、他機種との距離を確保。



◎バスケット乗込み位置

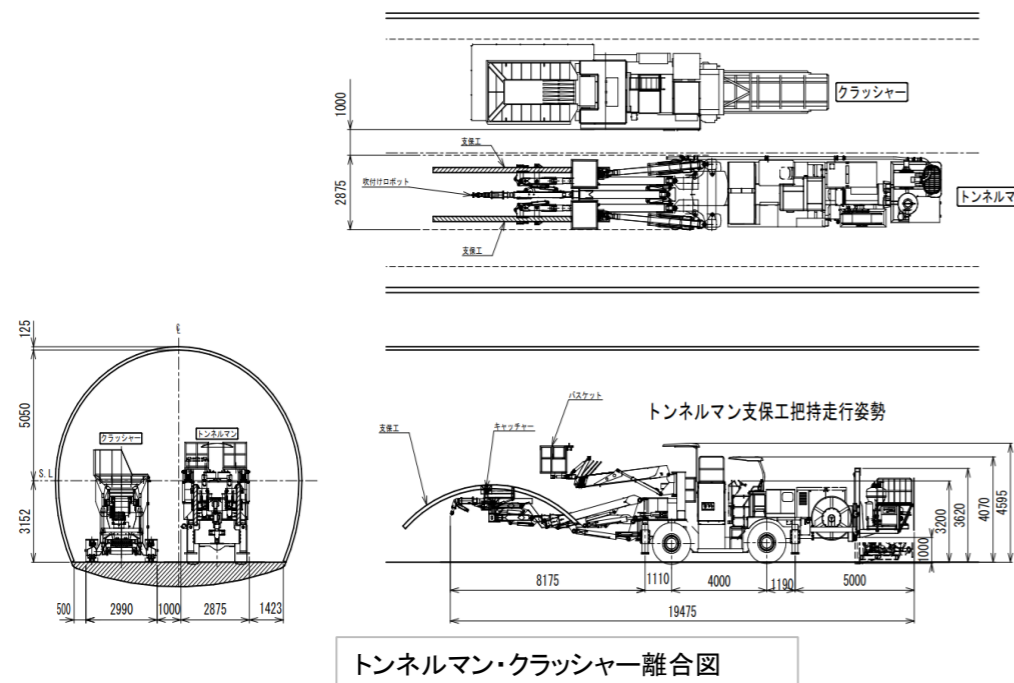
支保工建込作業時、バスケットへ金網・ロッドなど資材積み込みを行う場合、機体前方のアウトリガーに近い位置(※切羽から離れた位置)での作業が可能。



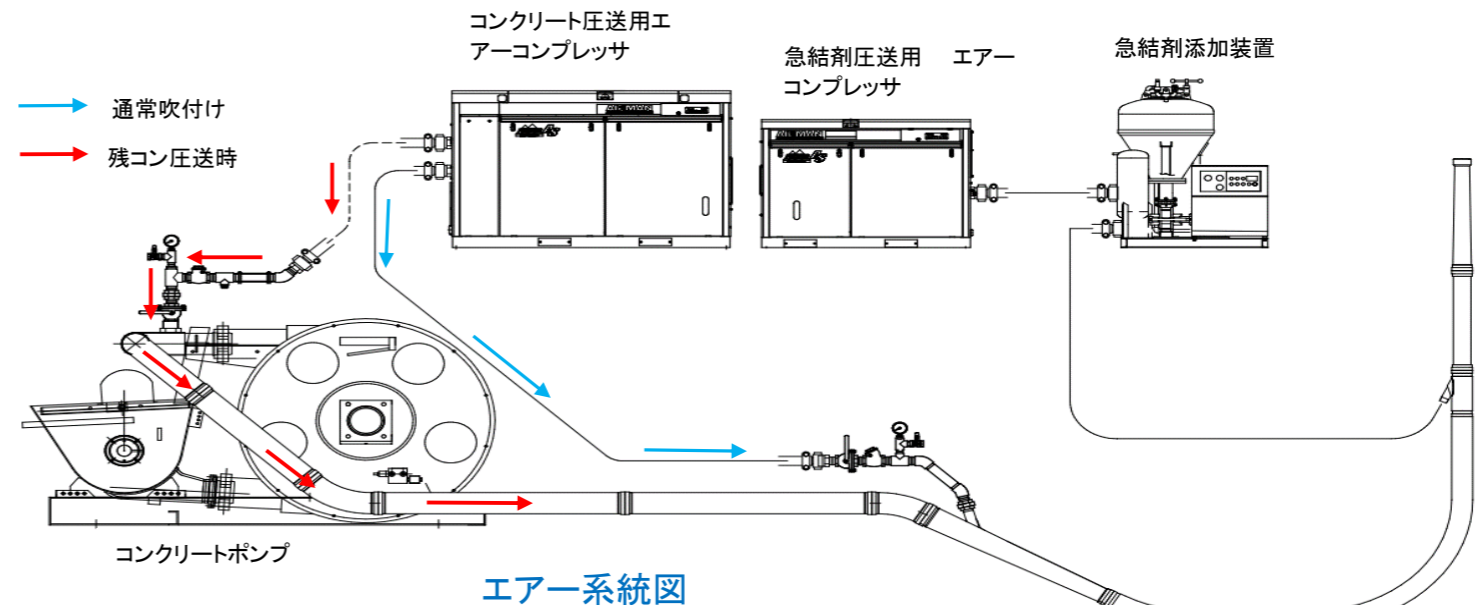
バスケット乗込み

◎コンクリート吹付け作業後の残コン処理

通常吹付け作業時は、コンクリート配管前方のエア添加ノズルからエア搬送。作業終了後、コンクリートポンプ吐出管に設けたエアラインからエアを添加。コンクリート配管内のコンクリートを全て吹付けに使用することができる。残コン“ゼロ”



トンネルマン・クラッシャー離合図



エアシステム図